

まつうら 市議会だより

第39号

平成28年5月1日

編集・発行
広報特別委員会
電話(0956)72-0264

第1回
定例会



福島養源小学校開校・入学式（4月8日 福島町）

平成28年度松浦市一般会計当初予算186億6千万円を可決

ふるさとづくり寄附金促進事業費約4億3千500万円が計上されました。

4月1日よりふるさと納税・魅力発信室を設置し、ふるさと納税額6億円を見込んで寄附者に対するお礼品経費など寄附を促進するための事業が拡大されます。



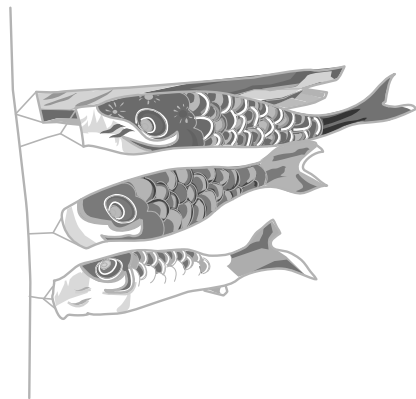
まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

平成28年 第1回定例会

平成28年第1回定例会を、3月4日（金）から3月18日（金）までの15日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市固定資産評価審査委員会条例の一部改正など条例10件、平成27年度各会計補正予算13件、平成28年度各会計予算16件、その他の議案6件の合計45議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。

最終日には、人権擁護委員候補者の諮問1件が上程され、推薦のとり了承いたしました。



会期日程

3月

4日（金）

本会議

▽会期の決定

▽議長の報告

▽市長の市政方針

▽監査報告

▽議案の上程・説明・質疑

・ 主管委員会付託

▽陳情の受理報告

5日（土）・6日（日）

休会

7日（月）～9日（水）

本会議

▽一般質問

10日（木）・11日（金）

委員会

12日（土）・13日（日）

休会

14日（月）～16日（水）

委員会

17日（木）

休会

18日（金）

本会議

▽主管委員会付託案件の審査

報告・採決

▽追加提出議案の上程・説明

・ 審議

議会の傍聴に
おでかけください。



次の定例市議会は

6月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコンで視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス

<http://www.city-matsuura.jp>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL (0956) 72-0264

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上、1人当たりの質問時間は60分以内（答弁と関連質問を含む）という取り決めになっています。

今定例会では、3月7日から9日までの3日間で10人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。（登壇順）

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問



山岡 議員

○市長の政治姿勢について

質 過去に名誉市民の称号を6名の方が受けられております。元鷹島町長にこの称号を与えることについて、市長は先の一般質問で、市の大きな節目の年にお贈りするのがよいのではないか。その折に判断させて頂くと答弁され、その大きな節目とは市制10周年が節目との認識を持っている。と答えられている。

市長は、なぜこのときに表彰されなかったのですか。

市長 市制10周年記念式典におきましては、市政功労者表彰を執り行うなど、総合的な判断のもとに対応させて頂いた次第です。

質 1月16日に開催された市制10周年記念式典に、合併当時の最大功労者であった吉山前松浦市長、志水元福島町長、宮本元鷹島町長はいずれも欠席されております。大事な10周年記念式典に欠席されるということからは、市長の政治姿勢に問題があったのではないかと思うが、市長の見解

を伺います。

市長 記念式典におきましては、新松浦市の誕生に尽力され、市勢発展に多大な貢献をされた皆様へ市政功労者として表彰状並びに感謝状を贈呈させて頂きました。式典の場で敬意と感謝を申し上げたくご案内したところですが、ご出席かなわなかったことにつきましては残念に思っております。

質 市長は選挙前の公約で、鷹島の船唐津漁港のフェンス設置、港湾内のヘドロ除去、阿翁浦地区の洗網機設置、水産振興費として毎年度5億円を予算措置すると公約されていますが、未だに実施されていないと思います。どのようになっていますか。

水産課長 船唐津漁港については、現在機能保全事業に着手しており、完了後に国県の指導の下に検討することとしております。ヘドロ除去については、28年度の水域調査を踏まえて国県と協議することとしております。洗網機の設置については、対応を引き続き漁協と協議してまいります。予算の件については、県営等の事業を含めれば、毎年5億円以上の事業は実施している状況です。

一般質問



武田 議員

○田代・大崎小学校に残存する備品の有効活用について

質 田代、大崎小学校の備品はどういった流れで処分されましたか。

教育総務課長 引き続き使用するものは統合先の御厨小学校へ、残ったもののうちその他の学校で使用するものは各学校へ、また体育館備品等は教育委員会などに所管替えを行っています。更に残ったものは田代、大崎の各校内で保管しております。
質 残存する備品については最終的には廃棄処分されるのですか。

教育総務課長 現在のところ廃棄の予定はありませんが、再確認の上、使用不能なものや今後使用しないと判断されるものは、市の規則に基づき処理を検討することとなります。

質 閉校した学校の備品とその地域の特産物を同時に販売するといったイベントを行ったり、備品をオークションにかけたりして、その収益を教育予算に充てている自治体が見つかります。そうした先駆的事例を参照にした田代、大崎小学校に残存する備品の有効活用についての考えをお聞かせ下さい。

教育長 ご指摘のありました有効活用については、教育予算にプラスに

なることでもありますので、教育委員会内で検討したいと思えます。

質 イベント等を行うことにより地域に賑わいを取り戻せるのではないかと思います。地域の活性化や跡地活用も含めたところでの備品の取り扱いについて見解をお願いします。
教育長 現在も地域の方々に花壇の手入れやグラウンドの整備などに協力頂いております。イベント等の開催についても連携がとればと思います。備品の活用と併せて今後研究したいと考えます。

○選挙権年齢引き下げに対する本市の取り組みについて

質 18歳選挙権を受けて、現在までに行ってきた取り組みと今後の予定をお知らせ下さい。

選挙事務局長 27年度は啓発の年と位置づけ、明るい選挙推進協議会の活動を活性化し、中学生に対する講演や選挙制度の説明会、啓発カレンダー配布などを実施しております。4月からは、小中学校への出前講座に取り組んでいきます。

質 有権者としての自覚を養う主権者教育の充実が非常に重要だと思いますが、学校において政治的中立性、公平性をどうやって確保していくのか考えをお聞かせ下さい。

教育長 政治については中立でなければならぬことを、研修と併せて機会をとらえて指導していきたいと考えております。

一般質問

川下
議員

○松浦市における防災・減災等について

質 去る1月23日からの大雪と寒波がもたらした断水等により、生活に大きな影響を受けられた方が多くおられました。また、昼夜を問わず給水と復旧作業など対応に当たられた市職員の方々も大変な業務であったと察します。そこで、今回のような災害があつた場合の再発防止に向けた今後の対策について伺います。

上下水道課長 今回の水道の被害は、給水管が凍結し、破損したことによる漏水が原因となっております。今後、寒波予報等が出た場合には、防災行政無線やホームページ等での情報提供はもちろんのこと、回覧文書での啓発を行い、防災意識の向上を図っていきたいと考えます。また、上下水道課としても災害対策マニュアルを策定し、災害に備えたいと考えます。

質 普段からの地域における事前打合せ等の減災活動が、災害時には効果を発揮します。自主防災組織を持つ自治会だけを対象にした勉強会だけでなく、呼びかけの対象範囲を広げるべきと考えますがどうですか。

市長 万一災害が発生すれば、地域住民の方々の活動が重要だと思えます。自主防災の組織化に向けて市から自治会に呼びかけ、その必要性を認識して頂くとともにその地域における方の中から防災リーダーを育成する必要があると思っております。

○伊万里松浦病院移設に関する事について

質 市民の当該医療機関移設への関心度は高い。しかし期待が大きい一方で、既存の医療機関との共存について調整を望む声も聞こえてくる。移設の場所について相手方の意向はどう示されているのかお尋ねします。

市長 地域医療機能推進機構から要望があつた消防署跡地及びその周辺地域を無償で貸与する旨を示しております。

質 地元医療機関との診療内容の調整についてはどのように考えているのか伺いたい。子どもの夜間診療を要望する声も多く聞きます。市民のご意見、地元医師会との合意形成のもとに話を進めて頂きたい。

市長 機構との話し合いの中で地域医療への貢献と市内医療機関とは連携を図って頂くようお願いしております。現時点では個々の事項については未だ定まっておりますませんが、誘致に向けて全力で取り組んでいるところであります。

一般質問

宮本
議員

○最重要課題に対しての市長の政治手法について

質 市長は、松浦市の重要課題というものについて、どのように認識されていますか。例えば、松高の魅力発信、水産基地の総合整備、ふるさと納税戦略、水中考古学の拠点構想など重要な課題が山積していると思いますが、市長としてこれだけは実現したいという最重要課題を挙げてください。

市長 市長として3期目を担わせて頂くに当たり市民の皆さまにマニフェストとしてお示しました安全安心の確保、交通インフラ整備、雇用の創出、地域経済の活性化の推進と実現に向けて取り組む事が重要だと思っております。

質 市議会には、理事者の事業推進を応援する機能として特別委員会を設置することができま。市長におかれては、私たち市議会に対してこの件についてご意見はありませんか。

市長 市政の発展のためには今後と

も市議会のご協力を得ながら取り組んでいかなければならないと考えておりますが、特別委員会の設置に関しては議会においてご判断されることと認識しております。

○長崎県への電源立地地域対策交付金の立地市町村枠の重点配分について

質 国が県に交付する電源移出県等交付金については、かねてから長崎県に対して松浦市へ重点配分してもらえよう働きかけが必要だと申し上げてきました。市長は、重点配分について県に要望しているといいいますが、この要望を実現するためにももっと強く知事に申し入れる気持ちはありますか。

副市長 松浦市への重点配分に関しては、県に対して何度も要望をしておりますし、28年度の本市の事業に対しては約5千200万円の内示を頂いている状況です。現在、県下の市町事業でこの交付金を財源として充てることができるのは本市だけだという状況からすれば、それなりの成果があるものといえます。次年度におきましても配分頂けるよう努力してまいります。

一般質問



徳田
議員

○ふるさと納税について

質 佐世保市は、ふるさと納税で日本一になった平戸市のやり方を全部取り入れて、その結果平戸市に追いついた。松浦市は、なぜ平戸市の方法を取り入れなかったのか。平戸市長の本を読んだが、そこには職員を信頼し、あとの責任は自分が持つと書いてある。松浦市は、今後どう対応していくのか。

政策企画課長 手法の導入に当たっては、それぞれメリット、デメリットがあると考えます。本市としては、当面は現在取り組んでおります方式を基本としながら、より効果的な手法がないか引き続き検討してまいりたいと考えております。

○原子力発電所対応について

質 使用済み燃料の再処理業者がどこなのか事前説明を受け、納得はしたのか。

防災課長 玄海原発1号機の廃止措置計画に関しては、国の原子力規制委員会が認可するうえで必要な安全審査基準に基づき電気事業者に対応

を求めているものであり、国の審査によって安全性は確保されているものと認識しています。再処理事業者についての説明はありません。

質 使用済み燃料プールには余裕がないと聞く。あとのくらの量の量が入るのか。期間の余裕はあるのか。乾式での保管もあると聞くが、安全性について事前説明は受けたのか。

防災課長 九州電力に確認したところ、保管本数を増やす工事を施せば約13、14年先まで保管できるとのことです。また、乾式保管についての具体的な取り組みはないと聞いております。

質 隣接する自治体住民は、原発事故の恐怖にさらされ迷惑している。国から原発交付金などが入らないのは理不尽だとは思わないか。全国原発隣接自治体と連携し、国に交付金制度の改善を求めていく考えはないか。

市長 電源地域自治体で構成する九州地方電源地域連絡協議会がありますので、ご質問の件については、当協議会に本市のほうから提案したいと考えております。

その他公共工事の積算や安全管理などについてとつばき荘について質問をしました。

一般質問



立
鈴
議員

○上志佐小学校児童数減少に伴う諸問題について

質 上志佐小学校の生徒数の減少はどのように推移していますか。

学校教育課長 10年前の平成17年度には100名でしたが、その5年後には64名に、現在は57名で、28年度は49名の予定数となっております。

質 そのように減少していることから、統廃合の対象になるのではないかと地元の地域振興会、区長会、PTA、育成会の4団体は請願を市議会に出され、市議会はこれを選択しました。市は、喫緊の課題としてこれに当たっていかねければなりません。どのようにしてこの廃校を防ぐかを、校区の見直しも含めて検討する必要がありますと考えます。また、子ども数を増やすための子育て世代住宅の建設をぜひ進めて頂きたいが、そのスケジュールを示してほしい。

市長 先に、田代、大崎、御厨小学校の統合を、本年4月からは福島と養源小学校が統合いたします。ご指摘のとおり上志佐小学校も非常に厳しい状況にあると認識しております。子どもを増やしていくためには校区内に住んで頂くことが重要で、その

ためには住宅対策を進める必要があります。28年度からは、まず住宅候補地の選定に取り組みたいと思っており、地元の皆さんと協議をして、用地の方向性が固まれば、どういう方法で整備していくかを検討してまいりたいと考えています。

○市内での企業資材調達及び商店街における購買力の向上施策について

質 市内には、素晴らしい匠の技によって高品質の製品を生産している企業がたくさんあります。できるだけ市内企業の製品や資材を公共事業においても調達するように配慮すべきだと思う。また、市内の商店での購買意識を高め、地域の活気を向上させることが求められています。シヤッターがおりるような光景はなさなければならぬと思うが、考えを伺いたい。

建設課長 市発注の建設工事については、市内業者育成の観点から、市内業者を優先して発注するように努めております。また、業者の資材調達についても、発注の際の特記仕様書により県内生産品を使用するように明示しております。

会計課長 市の物品調達については、入札等を実施する場合には市内業者を優先指名し、また、一般の消耗品等についても市内業者からの購入を基本としております。

一般質問



久枝 議員

○松浦高校支援制度の今後について

質 松浦高校支援に関しては、24年12月市議会一般質問の折から、北海道美瑛町の支援例を示して訴えてきました。25年度から実施してきた本市の支援策の実績額はどのようになっていますか。

政策企画課長

本市の実績につきましては、25年度の総事業費が912万円、26年度が924万円、27年度の決算見込み額が1千72万円となっております。

質 今後、市内の中学生の人数は減少すると聞いています。全体的にどのような生徒数の推移となっておりますか。この支援策は、28年度までの期限とされていますが、29年度からの支援の継続をどのようにお考えですか。

学校教育課長

28年度の市内中学校卒業予定数は242名ですが、29年度になりますと199名と減少します。

市長 これまでの事業の検証を行うとともにアンケートを実施し、新たな支援策を検討するなど、29年度からも効果的な支援策が講じられるよう取り組んでまいります。

○伊万里松浦病院移転の進捗状況について

質 市長は誘致について、市役所周辺の市有地を無償で貸与すると報道陣に答えられています。また、不転の決意で移転に取り組み、設立や安定経営について機構の意向に配慮される対応をしたいとも答えられています。病院を経営する地域医療機能推進機構の進出の可能性について伺います。

市長 本市への移転に向けて、現在関係機関との調整に全力を挙げているところです。具体的な協議には未だ入ってはいませんが、敷地の件については機構から要望があった消防署跡地とその周辺を無償貸与する旨を伝えております。

質 誘致が成功した時、当敷地周辺には社会福祉センターや万年青荘が立地しています。ともに耐震構造でないことからするとその移転も考えられます。どう対応されますか。

市長 消防署跡地周辺については、従来より医療、福祉及び保健の機能をついにまとめた総合プラザ構想を掲げた場所でもあります。今回の誘致に際しては、社会福祉センター、万年青荘、げんきつこ広場などを含めた範囲を想定しております。

一般質問



安江 議員

○要介護者に対する障害者控除について

質 制度のあらましについてお示しください。

福祉事務所長 障害者手帳のない65歳以上の高齢者で、認知症又は寝たきりの状態にある方が、申請により該当すれば障害者控除の対象となる制度です。

質 申請に基づいて認定書が発行されていますが、発行状況はどうなっていますか。

福祉事務所長 本年2月までに、累計で189人に認定書を交付しております。

質 認定書の発行数が少ないと思いますが、その要因をどう考えますか。
福祉事務所長 対象の多くが住民税非課税者であるため申請も少ないと思われる。

質 全ての対象者に発行する自治体もあります。この取り扱いについてどう考えますか。

福祉事務所長 本市は申請主義をとっておりますので、対象者に対する周知に努めることで対応してまいります。

質 もし、対象者全員に発行するとすれば、法的にクリアしなければならぬ条件は何かありますか。

市長 他の制度との調整や整合性の

問題もありますので、現在の方法で行いたいと考えます。

質 申請主義でいくとすれば、工夫する点についてどのように考えますか。

福祉事務所長 要介護の認定通知書と併せてこの制度をお知らせするなど、丁寧な説明に努めてまいります。

○原子力防災に係る長崎県民の安全確保に関する協定書の運用について

質 玄海原発1号機廃炉計画の九電からの事前説明について、その事実はどうなっていますか。

市長 概要の説明を受けましたが、詳細は日を改めて受ける予定です。

質 説明の内容をお知らせください。市としての意見は言われてはいないのですか。

市長 廃炉に係る今後の方針の説明があったのみで、市としての意見はまだ言っておりません。

質 原子力安全協定に則って住民説明会を九電に要請されるのでしょうか。

市長 協定上は平常時の情報提供と位置付けられており全市民を対象とした説明会は難しいと思います。自治会単位での要請があれば九電へ対応を要請します。

質 市は、九電に対して住民説明会を要請すべきと思いますが、どう考えていますか。

市長 廃止作業の工程が協定上に該当するのかどうかを県と協議し、的確に対応していきます。

一般質問



嶋田
議員

○ふるさと納税の現状と今後について

質 近隣三市の納税の総額と件数はどのようになっているか。

政策企画課長 本年12月末現在で、平戸市が約4万5千件の25億円、佐世保市が約10万5千件の24億円、伊万里市が約5万件の9億円、本市が約2万4千件の3億6千万円となっております。

質 1件当たりの金額ではどうなっているか。

政策企画課長 1件当たりでみると平戸市が約5万6千円に、佐世保市が約2万3千円に、伊万里市が約1万8千円に、本市が約1万5千円となります。

質 松浦市にとってふるさと納税の取り組みは、逼迫した財政状況を考えれば市の最重要課題であるといえる。納税者への農産品や水産品の返礼品には、商工や観光を含めて他市に負けないものがあると思う。業務を担当する組織体制の見直しも含めて、全職員挙げて取り組む必要があると思うがどうか。

市長 ふるさと納税の目的でもあり

ます地元産品の生産と販売拡大による地域経済の活性化、あるいは指摘がございました財源の確保につきましては、このことを念頭に置いて積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

○伊万里松浦病院誘致現状について

質 病院の誘致については、多くの市民の皆さまからの声が寄せられたと思うが、市民にとっては救急医療に対する不安もあり、10年後、20年後の地域医療がどうなるのかといったところを見据えた対応が求められている。行政としても最重要課題としての認識を持って取り組まれていくのか、その意気込みを伺いたい。

市長 ぜひとも松浦に立地して頂きたいの思いから、市としても最重要課題として取り組んでおります。地域医療機能推進機構におかれては、本年度中にもその方向性をお示し頂けるのではないかと見通しを立てております。市議会におかれてもぜひお力添えをお願いしますとともに、市民の皆さま方にもご協力頂きたいと心からお願いするものでございます。

その他東部工業団地の誘致現状について、消防団の現状と今後について及び認定農業者について質問をしました。

一般質問



白石
議員

○松浦市の人口増対策について

質 松浦市住みたい・住み続けたいまちづくり条例が施行され、財政支援と人的支援を行うとあるが、どんな計画をし、その成果はどうなっているのか。

子育て子ども課長 高校生までの医療助成に約116万円を、不妊治療費助成に約98万円を、子育て家庭と転入者の家賃助成に総額約2千324万円を支給しております。

学校教育課長 教育支援員増員のほか学校と地域が一体となった取り組みなどの支援を行っています。

質 同じく就業の機会の創設とあるが、九電2号機建設における雇用の拡大の可能性はどうなっているのか。

企業立地課長 九電に対し、建設事業者はできるだけ市内業者をと要望しています。

質 年度ごとに重点的に財政上の措置をすべきと思う。人口動態を見ると、年齢区分で特に減少しているところがある。その部分に対策を講じるべきではないか。

総務課長 27年度は、結婚、妊娠、出産、子育て支援事業と住宅確保や居住継続支援事業などに重点配分し

ました。28年度は、教育に関連する事業や結婚を機に居住する若い世代の新生活支援などに重点配分しています。

質 減少著しい青島、飛島、黒島の離島に対しては、より住みよい環境整備を図ることで減少を止め増加につながらないか。また、高齢化率は高い。それにふさわしい農業や水産業の振興をすべきではないか。

水産課長 水産では沿岸域の漁場整備と観光や体験型漁業への対応が、農業ではブロッコリーなどの軽量野菜栽培などが考えられます。

質 人口増対策に対する市長の考えをお聞かせください。

市長 若い世代を確保していくとともに産業の振興と併せ交流人口拡大につなげていきたい。

○大崎小嶋古墳群の再調査について

質 本市に史跡が少ないのはなぜか。

文化財課長 文化財保護条例に基づき重要な遺跡を指定しております。**質** 合併後の市史編纂をどのように考えているか。

文化財課長 今後検討してまいります。

質 小嶋古墳群の再調査を行うよう要望したい。

文化財課長 古墳の築造年代や規模は判明しておりますので、現状のまま後世に残すべきだと思います。現時点での再調査は考えておりません。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】平成27年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

情報セキュリティ対策に係る国の補正予算が成立したことにより、本市のセキュリティ強化対策事業として約2千460万円の事業費が計上されました。マイナンバー関連事務の実施に伴う各種情報端末を分離し、ウイルス対策等が強化されます。28年度にかけて事業を実施します。

【議案】平成28年度松浦市一般会計
予算(関係分)

情報化基盤整備事業に約1千640万円が計上されました。高速かつ大量の通信環境を整備するために青島と星鹿城山間に無線通信施設を整備します。水産業振興などの情報通信に効果が期待されます。

【議案】松浦市過疎地域自立促進計画の策定について

この計画は、過疎地域自立促進特

別措置法の規定に基づき、本市のあらゆる施策を計画的かつ総合的に推進するための事業計画を定めるものです。28年度から32年度までの5年間を後期計画期間とし、前期の計画で実施に至らなかった事業や松浦市まち・ひと・しごと総合戦略の推進を掲げた事業も掲載されます。

文教厚生委員会

【議案】松浦市子育て支援施設の設置及び管理に関する条例の制定について

この条例は、子どもとその保護者に交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談や情報提供などを行うための支援施設の設置と管理について定めたものです。子どもの健全な成長と子育て環境の充実が期待できます。施設は、市立図書館横の児童館跡地に設置されます。

【議案】平成28年度松浦市一般会計
予算(関係分)

小中学校の教育用ICT機器導入事業費に、国が交付する電源立地促進対策交付金を活用して、約1億5千700万円が計上されました。教育環境を充実させるために、市内全小学校のパソコン教室のパソコン機器234台の入れ替えと星鹿、青島、御厨、志佐、上志佐の小学校と青島、御厨、志佐の中学校の各教室に電子黒板が導入されます。この事業は、松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき学校環境整備の一環として実施するものです。

委員会を

傍聴するには

各委員会での審議は一般に公開され、どなたでも傍聴することが出来ます。

次の事項に留意の上おいでください。

- ・会議当日の開催時刻(通常は10時開会)の40分前から20分前の間に申請を議会事務局で受け付けます。
- ・各委員会の定員は6人です。
- ・希望者が定員を超えたときは、受付終了後に抽選により傍聴者を決定いたします。

産業経済委員会

【議案】平成28年度松浦市一般会計
予算(関係分)

畜産振興事業として長崎県畜産クラスター構築事業費5千286万円が計上されました。国の補助制度を活用して、牛舎建設及び堆肥化施設の整備に総額7千450万円が投じられます。

水産振興事業として漁協の養殖事業に対する補助金1億円が計上されました。国から交付される電源立地対策交付金を活用して行われるもので、養殖飼料保管施設、製氷貯氷施設、浮標灯ほか漁業施設の改修及び更新が実施され、漁業所得の向上が図られます。

定住促進住宅整備事業として2億800万円が計上されました。前年度に引き続き今福地区に定住促進住宅を整備するもので、全33戸のうちの4棟8戸の建設が行われます。この事業は、松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき住環境の整備を行うもので、定住人口と今福東部工業団地に係る雇用人口拡大を図るための施策として実施されています。

企業誘致関連経費として東部工業団地水源調査委託費約6千130万円が計上されました。同工業団地に供

給できる地下水の水源を調査するもので、電磁探査や鑿井調査が行われます。この調査により、500トンから千トンの供給量を確保することが可能となれば、誘致対象となる業種も広がり早期実現の可能性が高まります。

【議案】松浦市景観条例の制定について

この条例は、景観法に基づき行政団体として本市の景観形成の推進を図るために制定するものです。本市の緑豊かな自然や歴史のまちなみ、伝統的文化を市民共有財産として守り、良好な景観を形成して将来へ引き継ぐことを目的としています。

市は基本的かつ総合的な景観計画を策定し、この計画に基づき建築、建設、土地開発等において市民や事業者には景観に配慮した適合性が求められることとなります。

1月臨時会

1月22日に臨時会を開催し、議案7件、同意案2件及び決議案の審議を行いました。

案件の審議結果は、次のとおりになりました。

- 松浦市税条例の一部改正について
..... 原案可決
- 松浦市特別養護老人ホームの設置及び管理に関する条例の廃止について
..... 原案可決
- 平成27年度松浦市一般会計補正予算
..... 原案可決
- 市有財産の無償譲渡について
..... 原案可決
- 市有財産の処分について
..... 原案可決
- 福島地区小中学校校舎改築 小学校棟建築工事請負契約の変更について
..... 原案可決
- 福島地区小中学校校舎改築 共有棟建築工事請負契約の変更について
..... 原案可決
- 松浦市教育委員会委員の任命について
(福島町 島田茂明氏)
..... 原案同意
- 松浦市公平委員会委員の選任について
(福島町 木寺五子氏)
..... 原案同意
- 伊万里松浦病院の松浦市への移転を求める決議
議員提出議案・・・可決(多数)
- 【賛成】 山崎、川下、神田、徳田、宮本、森田、武辺、安江、高橋、山口、崎田、久枝、尾野、木原
- 【反対】 白石
- 【退席】 吉富、椎山

伊万里松浦病院の松浦市への移転を求める決議

松浦市における地域医療は、市内医療機関のご協力により維持されているものの、今後、医師の高齢化や医師不足による救急医療体制の維持をはじめとする医療サービスの低下が懸念されております。

市内の医療施設等の現状は、3病院、13診療所でベッド数は378病床となっており、10万人当たりの県平均でみるとこれを下回っております。また、医師数は22人で同様に県平均を大きく下回っております。さらに、平成26年4月から救急告示病院が無い状況となっており、地域医療に対する市民の不安は大きくなっております。

今般、松浦市が策定した地方創生「松浦市まち・ひと・しごと総合戦略」においても、医療体制の確保は、誰もが安心・安全な暮らしを実現できるまちづくりの柱のひとつになっております。

松浦市議会は、独立行政法人「地域医療機能推進機構」が運営する伊万里松浦病院の松浦市への移転建て替え計画について、今後の松浦市の地域医療の安定確保を図る上で極めて有効と判断し、松浦市民の福祉の増進を推進するためにもその実現を強く望むものであります。

以上決議する。

平成28年1月22日

松浦市議会

2月臨時会

2月12日から15日までの4日間、臨時会を開催し議会人事と併せて同意案6件の審議を行いました。

案件の審議結果は、次のとおりになりました。

●松浦市監査委員の選任について
(御厨町 武辺鈴枝氏)
..... 原案同意

●松浦市職員懲戒審査委員会委員の任命について
(志佐町 尾野一男氏)
(調川町 吉富武志氏)
(今福町 石川 敏氏)
(今福町 末永和彦氏)
(佐世保市 福守輝雄氏)
..... 原案同意

3月臨時会

3月28日に臨時会を開催し、同意案1件の審議を行いました。

案件の審議結果は、次のとおりになりました。

●松浦市教育委員会教育長の選任について
(星鹿町 今西誠司氏)
..... 原案同意

議長 高橋勝幸

副議長 山口芳正

委員会の構成

平成28年2月開催の市議会臨時会において議長、副議長及び各委員会の構成委員が左記のとおり決まりました。

常任委員会

総務委員会	委員長	尾 野 一 男			
	副委員長	川 下 高 広			
	委 員	宮 本 啓 史	森 田 隆 司	吉 富 武 志	高 橋 勝 幸
文教厚生委員会	委員長	神 田 稔			
	副委員長	武 辺 鈴 枝			
	委 員	徳 田 詳 吾	安 江 結 子	白 石 光一郎	鈴 立 靖 幸
産業経済委員会	委員長	木 原 勇 一			
	副委員長	山 崎 誠 也			
	委 員	崎 田 廣 美	久 枝 邦 彦	椎 山 賢 治	山 口 芳 正

議会運営委員会

定数 8 人	委員長	崎 田 廣 美			
	副委員長	山 崎 誠 也			
	委 員	神 田 稔	宮 本 啓 史	武 辺 鈴 枝	白 石 光一郎
		尾 野 一 男	鈴 立 靖 幸		

特別委員会

西九州自動車道 整備促進 特別委員会	定数 9 人	委員長	木 原 勇 一		
		副委員長	神 田 稔		
		委 員	森 田 隆 司	武 辺 鈴 枝	安 江 結 子
			白 石 光一郎	崎 田 廣 美	久 枝 邦 彦
企 業 対 策 特別委員会	定数 8 人		山 口 芳 正		
		所管事項	西九州自動車道の整備促進に関すること		
		委員長	徳 田 詳 吾		
		副委員長	宮 本 啓 史		
広報特別委員会	定数 6 人	委 員	山 崎 誠 也	川 下 高 広	尾 野 一 男
			吉 富 武 志	鈴 立 靖 幸	椎 山 賢 治
		所管事項	企業誘致並びに産業振興及び雇用機会の拡大に関すること		
		委員長	山 口 芳 正		
		副委員長	武 辺 鈴 枝		
		委 員	山 崎 誠 也	川 下 高 広	宮 本 啓 史
			神 田 稔		
		所管事項	市議会だより編集及び市議会広報の調査研究に関すること		

2月

2日

福岡県嘉麻市議会来市

2日・3日

全国離島振興市町村議会議長会

(東京都)

12日

議会運営委員会

12日

市議会臨時会

17日

長崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会

(長崎市)

22日

北松北部環境組合議会定例会

(平戸市)

25日

北松浦半島振興協議会

(平戸市)

26日

議会運営委員会

3月

4日

第1回市議会定例会

8日

広報特別委員会

28日

市議会臨時会

北松北部環境組合臨時会

(平戸市)

議会
目誌

4月

11日

長崎県市議会議長会定期総会

(島原市)

13日

広報特別委員会

27日

九州市議会議長会定期総会

(長崎市)

29日

長崎県三市(五島市・平戸市・松浦市)議会正副議長会

(五島市)

市議会だよりに対する
ご意見をお寄せ下さい。

○電話でのご意見は
0956-72-0264へ

○ファックスでのご意見は
0956-72-4676へ

○電子メールでのご意見は
gikai@city.matsura.lg.jp:へ

○郵便でのご意見は
〒859-4598
松浦市志佐町里免365番地
松浦市議会事務局へ

特に記載様式等は設けており
ません。

ぜひご意見をお寄せ下さい。

広報特別委員会より

議案等の審議結果		
条 例	○松浦市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	可決(多数)
	○松浦市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	可決(多数)
	○松浦市手数料条例の一部改正について	可決(全員)
	□松浦市子育て支援施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決(多数)
	□松浦市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について	可決(全員)
	◇松浦市景観条例の制定について	可決(全員)
	○松浦市火災予防条例の一部改正について	可決(全員)
予 算	◎平成27年度松浦市一般会計補正予算(第6号)	可決(多数)
	□平成27年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
	◇平成27年度松浦市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	◇平成27年度松浦市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)

次ページにつづく

議案等の審議結果

予 算	◇平成27年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算（第4号）	可決(全員)
	◇平成27年度松浦市水道事業会計補正予算（第2号）	可決(全員)
	◇平成27年度松浦市工業用水道事業会計補正予算（第2号）	可決(全員)
	◇平成27年度松浦市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決(全員)
	◎平成28年度松浦市一般会計予算	可決(多数)
	□平成28年度松浦市青島診療所事業特別会計予算	可決(全員)
	◇平成28年度松浦市鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計予算	可決(全員)
	□平成28年度松浦市国民健康保険特別会計予算	可決(全員)
	□平成28年度松浦市後期高齢者医療特別会計予算	可決(全員)
	□平成28年度松浦市介護保険特別会計予算	可決(全員)
	◇平成28年度松浦市簡易水道事業特別会計予算	可決(全員)
	□平成28年度松浦市福島診療所事業特別会計予算	可決(全員)
	□平成28年度松浦市鷹島診療所事業特別会計予算	可決(全員)
	◇平成28年度松浦市下水道事業特別会計予算	可決(全員)
	◇平成28年度松浦市松浦魚市場特別会計予算	可決(全員)
	◇平成28年度松浦市臨海土地造成事業特別会計予算	可決(全員)
	◇平成28年度松浦市工業団地造成事業特別会計予算	可決(全員)
	◇平成28年度松浦市水道事業会計予算	可決(全員)
	◇平成28年度松浦市工業用水道事業会計予算	可決(全員)
	◇平成28年度松浦市下水道事業会計予算	可決(全員)
その他	◇市道の路線廃止について	可決(全員)
	◇市道の路線認定について	可決(全員)
	○松浦市過疎地域自立促進計画の策定について	可決(全員)
	□松浦市老人福祉センターの指定管理者の指定について	可決(多数)
	□松浦市文化会館の指定管理者の指定について	可決(多数)
	○長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	可決(全員)
諮 問	※人権擁護委員候補者の推薦について（星鹿町 奥野幸子氏）	了承(全員)
(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。 ◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査 ○・・・総務委員会 □・・・文教厚生委員会 ◇・・・産業経済委員会		

編集後記

冬ざれの様子から待ちに待った桜の季節を迎え、その花びらの乱舞を見送ったかと思うといつの間にか新緑の風薫る5月です。

今年も早や三分の一が過ぎていきました。誰にも時間は平等に過ぎていくのに、何故か歳を重ねるたびに時の流れを早く感じてしまいます。

19世紀のフランスの心理学者ポール・ジャネーは、生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢の逆数に比例するといっています。

つまり、人が感じる月日の流れや過去を顧みた際の時の流れの速さというものは、若い頃は遅く感じ、歳とともに短く速く過ぎ行くと感じるようになるのだそうです。これをジャネーの法則というそうです。科学的根拠はないそうですが、結局は時間を長く感じるのか短く感じるのかより、その中身をより充実させることが大事だということなのでしょう。

市議会だよりの編集も今号より新しい広報特別委員会のメンバーで取り組んでまいります。より親しみやすい紙面作りを目指しますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

(鈴)

広報特別委員会

委員長 山口芳正
副委員長 鈴木誠也
委員 武田高広
委員 山崎誠也
委員 川下高広
委員 神田高広
委員 宮本啓史